

共同デスク 5号 (2017年12月6日)

東京国公だより 6号  
関ブロニュース 9号

【電話】 03-3501-6973

【FAX】 03-3500-4391

【Eメール】

[office@tk-kokko.org](mailto:office@tk-kokko.org)

URL: <http://tk-kokko.org/>

9月発表)  
年分Ⅱ平成29年  
庁調査Ⅰ平成28  
統計調査Ⅰ(国税  
「民間給与実態  
格差は歴然  
男性と女性の  
正規と非正規、

誰でも8時間働けば生活できる賃  
金の確立と雇用の安定を その②  
時給1000円以上の全国一律最賃制度の確立と非正規労働者の雇  
用の安定など労働条件の抜本改善は18春闘の最重要課題

1年を通して勤務した所得者の平均年収 (2016年)			
	正 規	非 正 規	平 均
男性	5,397千円	2,278千円	5,211千円
女性	3,733千円	1,481千円	2,797千円
男女計	4,869千円	1,721千円	4,216千円
【参考】 平均年齢 男45.9才、女46.1才 平均46.0才 平均勤続年数男13.5年 女9.9年 平均12.0年			

### 拡大する正規・非正規の賃金格差

【2014年の正規の平均年収】 【2014年の非正規の平均年収】

4,777千円 1,697千円

【2015年の正規の平均年収】 【2015年の非正規の平均年収】

4,849千円 1,705千円

【2016年の正規の平均年収】 【2016年の非正規の平均年収】

4,869千円 1,721千円

増加額 (正規) 増加額 (非正規)

92千円 (2014年～) 24千円 (2014年～)

20千円 (2015年～) 16千円 (2015年～)

2014年から昨年2016年まで、正規の給与者は年収ベースで9万2千円増加ですが、非正規は2万4千円にとどまっています。

# 「ニッポン一億総活躍プラン」発表から1年半経過

## あの「言葉」はどこへ行った？ 正規非正規の格差は拡大

表面の表の通り、正規労働者と非正規労働者の賃金格差は歴然です。男女とも約2・5倍の格差があります。しかもその格差はひらいているのが特徴です。国税庁は、正規、非正規別の民間給与の年収を発表していますが、2014

2015年との比較でも、正規が2万円の増加にも拘わらず、非正規は1万6千円です。

「格差をなくす」の約束はどこへ行った？



葉をなくす決意で臨む」等々です。この発表から1年半が経過しました。この1年半でも正規労働者と非正規労働者の賃金格差は縮まりません。逆に拡大しています。

安倍首相の経済政策「アベノミクスのもとでは、「非正規という言葉をなくす」とは、皆「非正規並み」という事でのみ達成可能ということにならざるを得ないでしょう。

正規と非正規の賃金には2・5倍もの格差があります。この格差は一日も放置することはできません。

この問題の根本的解決のために大いに奮闘しましょう。

### 次回予告

【年収別の労働者数】(「労働力調査」及び「民間給与実態統計調査」より)

8時間働けば誰でも暮らせる社会を！～働き方改革ってなんだろう？～

2017. 12. 7(木) 18:30～  
日比谷野外音楽堂にて

★集会后銀座パレード  
19:45(頃)～

主催 日本労働弁護団

雇用責任のあいまいなライドシェアやブラックバイト、ダブルワークをしないと生活できない…。おかしいですよね。過労死に怯えず安心して働いて暮らせる“真っ当な”社会の実現を、みんなで実現させませんか？働き方改革法案の中身は何？どこが問題?? 集会では各分野からの多彩なゲストと共に、真の働き方改革について考えます

「我が国の労働者の約4割を占める非正規労働者の待遇改善は、待ったなしの重要課題である」「正規労働者と非正規労働者の賃金格差については、欧州諸国に遜色のない水準をめざす」「非正規という言葉